

【プログラムのねらい】

- 保護者自身のスマートフォンなどの使い方について考える。
- 子供との適切なコミュニケーションのあり方について考える。

【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間と交流する遊びを行い、参加者のリラックスした雰囲気作りをする。 (4~5人のグループをつくる ※参加者の実態による) ・ 他者の意見を否定しない、秘密は守るなど、グループのルールの確認と本日の活動の目的を明確にする。 	平成 22 年度版学習プログラムの P2 「アイスブレイキング各種」参照
35分	<p>▶Work</p> <ol style="list-style-type: none"> ① エピソードを読み、けんいちさんの子供の気持ちを考え、グループで話し合う。 ② けんいちさん親子の姿を見て、まさのりさんが感じたことを考える。 <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ けんいちさんの行為を一方向的に否定する話し合いにならないようにしたい。 ・ 自分自身の経験も話せるようにしたい。 <ol style="list-style-type: none"> ③ 資料1を使って自分のスマートフォンやタブレットの使い方を振り返り、その結果や結果から考えたことをグループで話し合う。 <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出来ている数(「大丈夫の数」)の多さでなく、出来ていない理由を考えたり、どこからなら改善できるかなど、少しずつ改善していこうと気持ちを高めるようにしたい。 	ワークシート 筆記用具
15分	<p>▶グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Work②や③で出された工夫について全体で発表・紹介する。 ・ 各自で自分が子供に対して生かせそうなこと、気づいたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	※ホワイトボードや大きな紙に、発表・紹介された内容を書き、共有してもよい。 振り返りシート